

開館15周年 郷土ゆかりの文学資料収蔵展

文化のみち二葉館は、文化のみちエリアの拠点施設として平成17年2月8日に開館し、この度開館15周年を迎えます。当館は、かつて川上貞奴と福沢桃介が暮らし、邸宅であるとともに、名古屋市内における唯一の近現代の文学資料室でもあります。開館当初より、郷土ゆかりの文学に関する資料を収集して、その資料をもとに企画展やイベントなどを催し、地域文芸の魅力について発信してきました。

作家の城山三郎や歌人の春日井



建をはじめ、これまで数多くの作家やそのご家族、関係者などからのご寄贈により、現在では約5万4千

点の資料を収蔵しています。

今回の展示では開館15周年を記念して、多彩な収蔵品のなかから選りすぐりの資料とあわせて郷土ゆかりの作家や作品などについてご紹介します。

トークイベント

「忘れてませんが！名古屋で育った作家たち」

日本の近代文学の祖といわれる坪内逍遙、二葉亭四迷から現代に至るまで、名古屋とゆかりのある作家たちについてお話しいただきます。

■講演 前半 / 山下達治「逍遙・二葉亭・洋学校」

後半 / 三田村博史「栄を歩いた乱歩、城山三郎ほか」

■日時 令和2年2月16日(日) 13時30分～15時(各45分)

■会場 文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料) 当日先着順自由席

出演者プロフィール

「山下達治」1949年名古屋生まれ。郷土文学研究会、あいち文学フォーラム。

名古屋に関わる近代文学者の調査研究を行う。生涯学習センターで「逍遙の開いた扉」文化のみち二葉館

で「逍遙の原点・美濃太田と尾張名古屋」などの講師。主な論文「小栗

風葉と「青春」など。



「三田村博史」1936年岐阜県根尾生まれ。第2回石森延男児童文学奨励賞、第4回海外紀行文学賞、第1回中部ペンクラブ文学賞、2004年2月名古屋芸術特賞を受賞。著書に「夢の亡命」「漂い果てつ」など。新刊に「東海の文学風土記」。中部ペンクラブ会長。



坪内逍遙

(1859-1935)

二葉亭四迷

(1864-1909)

久野豊彦

(1896-1971)

城山三郎

(1927-2007)

春日井建

(1938-2004)

小谷剛

(1924-1991)

岡井隆

(1928-)

しかたしん

(1928-2003)

福永令三

(1928-2012)

などを紹介

「ドニエツキッぷ」「一日乗車券」

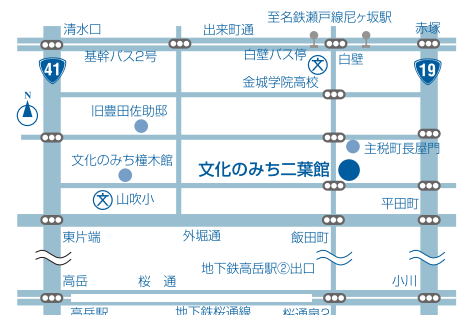
を利用してご来館の方は入館料割引! 一般200円→160円



交通のご案内

- なごや観光ルートバス「文化のみち二葉館」下車
- 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
- 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
- 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
- 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3-23

Tel & Fax 052-936-3836

<https://www.futabakan.jp/>